

キャプテンゴースト

分類:不死
レベル:17
能力値:
知力:27/9
攻撃:亡霊の手(拳刃/双)12(3D)/50(2D)/白兵(物理)/
攻撃:〈プレス:水〉9(2D)/25(2D)/特殊(魔法(水))/20m
回避:8(3D) 防御:40/20
HP:380 MP:450 行動:14 移動:10

エネミースキル:

《水陸両用》1:バツッパ。[游泳状態]の影響を受けない。

《船長の号令》1:セットアッププロセス。シーンに登場しているゴーストシップの先制値に+5、攻撃の命中判定に+1Dする。この効果はラウンド終了まで持続する。

《怨念の渦》1:対象が[游泳状態]の時に有効。セットアッププロセス。視界内の場面(選択)は難易度13の【筋力】判定を行なう。失敗した場合、対象が行なうリアクションの判定に-1Dする。この効果はシーン終了か、対象がムーブアクションで解除するまで持続する。1シーンに1回使用可能。

《怨みの念》1:シーンにゴーストシップがない時に使用可能。メジャーアクション。20m以内の単体で白兵攻撃を行なう。この攻撃は、対象が別のエンゲージにいても行なうことができる。
《連れ去り:精神》1:メジャーアクション。同じエンゲージの単体と【精神】で対決を行なう。勝利した場合、対象を[行動不能]にする。また、対象は行動不能の間、あらゆる行動やスキル、アイテムなどの対象にならない。この効果はあなたが死亡するか、シーン終了か、対象がクリンナッププロセスで難易度17の【精神】判定に成功するまで持続する。1シーンに1回使用可能。

《オーマの予兆》1:クリンナッププロセス。《オーマの波動》が使用可能となる。この効果は《オーマの波動》を使用するか、シーン終了まで持続する。

《オーマの波動》1:《オーマの予兆》の効果中に使用可能。メジャーアクション。視界の場面(選択)に【魅了】を与える。1シーンに1回使用可能。

《飛行能力》1(『剣街TRPG』P289)

《二回行動》1(『剣街TRPG』P288)

《プレス:水》1(『剣街TRPG』P289)

行動パターン:

基本的に、1体のゴーストシップを引き連れて登場する。このモブエネミーは、グヌータと別のエンゲージに配置する。

GMが望むならば、ゴーストシップとの戦闘の際、3ラウンド以降の任意のタイミングでシーンに登場させてもよい。

このエネミーの戦闘時の基本的な行動パターンを下記に掲載する。GMは、行動パターンの内容を変更してもかまわないし、行動パターンにない行動をとってもかまわない。

行動パターンA:

ゴーストシップが登場している場合の行動パターン。

セットアッププロセスでは《船長の号令》を使用する。

最初のラウンドのメインプロセスでは《連れ去り:精神》を使用。PCひとりをランダムで対象とする。

その後のメインプロセスでは、ムーブアクションで《猛撃》を使用し、メジャーアクションでは白兵攻撃でPCひとりを攻撃する。

全員が行動終了となった時に、《二回行動》を使用して未行動となる。この効果によるメインプロセスでは、《プレス:水》でPCの多いエンゲージを攻撃する。

クリンナッププロセスでは《オーマの予兆》を使用し、次のラウンドのメインプロセスで《オーマの波動》を使用する。

以降は、通常のメインプロセスで白兵攻撃を行なう。《二回行動》後のメインプロセスで《プレス:水》で攻撃する。

行動パターンB:

ゴーストシップがない場合の行動パターン。

最初のセットアッププロセスでは《怨念の渦》を使用する(シーン1回)。

最初のラウンドのメインプロセスでは《プレス:水》を使用して、もっとも多くのPCが対象となるように攻撃する。

全員が行動終了となった時に、《二回行動》を使用して未行動となる。この効果によるメインプロセスでは、《怨みの念》でPCひとりを攻撃する。

解説: 血統種。推奨CL5~。陰の王宮の地下にある迷宮“湖の廟”に存在する、遭難者の怨念の集合体。沈没船を依り代にしていることが多い。“湖の廟”で戦う人間に近づき、みずからの仲間になろうと襲いかかる。

ドロップ品:

2~6 : 純血晶(『剣街TRPG』P199)

7~9 : 純血晶(『剣街TRPG』P199)、麻布の下着(『剣街TRPG』P191)+2D

10~12 : 純血晶(『剣街TRPG』P199)、さらし布(『剣街TRPG』P191)+1D

13~ : 純血晶(『剣街TRPG』P199)、麻布の下着(『剣街TRPG』P191)+2D、さらし布(『剣街TRPG』P191)+1D

PC人数が少ない場合:

PC人数が4人の場合、HPIに-80する。

PC人数が3人の場合、4人の場合に加えてHPIに-80し、《二回行動》《連れ去り:精神》を削除する。

